



Masato Nishida Exhibition

「夢の跡」第41回日展 / 2009年

2017年 2018年
12月15日 [金] → 1月8日 [月・祝]

- 開館時間 / 11:00 ~ 19:00
- 休館日 / 12月18・25日(月)、12月29日(金) ~ 1月3日(水)

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押油小路町 238-1
Tel. 075-253-1509 <http://gallery.kcua.ac.jp>

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

絵
事
循
環

京都市立芸術大学退任記念

西田眞人 展



「双」2016年 改組新第3回日展 木綿着色



「白い花」2015年 改組新第2回日展 紙本着色



「水光」2007年 第39回日展 木綿着色

京都市立芸術大学退任記念

眞人 西田

Masato Nishida Exhibition

展

絵事循環

〈光〉の恩寵

西田真人展に寄せて

ソラリゼーションを
かけたかのような光の粒、光の線。
西田さんは、
それらに象られた物たちを
ひたすら細かに描くなかで、
じつは、その〈光〉の恩寵をこそ
描こうとしたのではないか。

京都市立芸術大学 学長 鷲田清一



「絵事循環」：池田遙邨

師事する池田道夫先生より父君池田遙邨の書を頂きました。《えごとじゅんかん》と読み、遙邨の造語かと思われま。どの様な思いでこのことばを書かれたのか…と、飾る度に考えてしまいます。怠けている時はそのことで作品が悪くなる…、変に力むと窮屈な絵に…と制作姿勢が作品に反映するという様な因果応報を説いた言葉？あるいは2015年作「白い花」は、その一年ほど前から毎日一枚、描きはじめた抽象のエスキースが契機となってできた作品。そして翌年の「双」に展開。勿論それらの制作の間にできた他の作品のこと、考えたことが影響し合い、制作が進むこと？写生・制作・鑑賞。そうしたことが私の中で循環している事？大袈裟な言い方をすれば絵を志してからは、《絵事》を中心に私の人生が循環してきたとも思われてきます。



「染まる街」2000年 第3回NEXT展 紙本着色

会期

2017年12月15日[金] → 2018年1月8日[月・祝]

●開館時間 / 11:00 ~ 19:00 ●休館日 / 12月18・25日(月)、12月29日(金) ~ 1月3日(水)

会場

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA (アクア)

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押油小路町 238-1



●地下鉄東西線「二条城前駅」2番出口より南東へ徒歩3分 ●市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ
●開館時間 11:00-19:00、月曜休館(月曜が祝日の場合は開館、翌平日を休館)
Tel. 075-253-1509 E-mail. gallery@kcuu.ac.jp 詳細は <http://gallery.kcuu.ac.jp>

ギャラリートーク vol.1

2017年
12月16日[土] 14:00~

●作品解説

ギャラリートーク vol.2

2018年
1月6日[土] 14:00~

●記念講演「私と日本画 一芸大生の時、教員の時」

西田真人 略歴

- 昭和 27年 神戸市に生まれる
- 昭和 53年 京都市立芸術大学日本画科卒業
- 平成 5年 青塔社入塾、池田道夫に師事
- 平成 7年 第27回日展特選(文化庁買い上げ)
- 平成 9年 個展「神戸 光 祈り」
神戸・京都・東京(神戸市立博物館買い上げ)
- 平成 10年 第14回山種美術館賞展優秀賞 兵庫県芸術奨励賞
- 平成 12年 第30回日展特選 NEXT展結成(高島屋で10回展まで開催)
- 平成 13年 神戸市文化奨励賞
- 平成 14年 個展「神戸 時 輝き」(神戸・東京)
- 平成 15年 第1回東山魁夷記念日本画大賞展入選
- 平成 16年 日展審査員(同20年、25年)
- 平成 17年 日展会員となる
- 平成 17年 菅橋彦大賞展大賞
- 平成 19年 兵庫県文化賞
- 平成 20年 京都市立芸術大学美術学部教授に就任
神戸市文化賞
- 平成 24年 回顧展「輝く街、染まる街〜西田真人が描いた神戸風景」こうべゆかりの美術館
- 平成 28年 改組新第3回日展会員賞
- 平成 29年 京都市立芸術大学退任記念 西田真人展「絵事循環」

